



おてっだい

ねん くみ ()

ユウジは、おてっだいが だいすきです。きょうも、おとうさんに きいてみました。

「おとうさん、なにか おてっだいすること ない？」

「うーん、そうだね。じゃあ、うらの おばあちゃんの いえに、やさいを とどけてくれるかな。」

おばあちゃんの いえは、あるいて 5ふんくらいの ところに あります。それなら、おやすいごようだ。

「じゃあ、いってきます！」

「きをつけてね。まっすぐ かえってくるんだよ。」

ユウジは、おばあちゃんの いえに むかって でかけました。

「きょうも、おてっだいが できるぞ。」

うれしい きもちで あるいていると、まえから ともだちの アツシが やってきました。

「ユウジ！ おそかったじゃないか。もう、しあいが はじまるぞ。」

「しあい？ それって、なんの はなし？」

「サッカーの しあいだよ。みんなで やるって、きのうやくそくしたじゃないか。」



ユウジは、やくそくしたことを すっかり わすれていました。

「でも、ぼく、やさいをとどけないと——。」

「そんなの、あとで いいだろ。さあ、ほら、しあいが はじまるんだから。いそいで いくよ！」

ユウジは、どうするべきでしょうか。あなたの かんがえと りゆうを かきましょう。

.....
.....

はなしあって かんがえたことを かきましょう。

.....
.....